

# DTaP (ジフテリア・破傷風・百日咳) ワクチン 知っておきたいこと

多くのワクチン情報文書がスペイン語その他の言語で準備されています。  
www.immunize.org/visをご覧ください。

Many Vaccine Information Statements are available in Japanese and other languages.  
See www.immunize.org/vis

## 1 なぜワクチン接種が必要ですか？

DTaPワクチンは、小児のジフテリア、破傷風および百日咳感染を予防する助けとなります。

- ・ジフテリア(D)は、呼吸障害、麻痺、心不全を引き起こす可能性があります。ワクチンがなかった頃、米国では毎年、数万人の小児がジフテリアでなくなりました。
- ・破傷風(T)は、強い痛みを伴う筋肉の緊張を引き起こします。これにより開口障害が生じ、口をあけたり、ものを飲み込んだりできなくなります。破傷風患者の約5人に1人は亡くなってしまいます。
- ・また、百日咳(aP)は、激しい咳の発作を引き起こすため、幼児や小児の飲食や呼吸が困難になります。肺炎、発作、脳損傷を引き起こし、死に至ることもあります。

DTaPワクチンを接種したほとんどの子供は、幼少期を通じて免疫がつきます。予防接種を中止してしまうと、多くの子供がこれらの病気に感染することになるでしょう。

## 2 DTaPワクチン

小児は、通常、DTaPワクチンを5回受ける必要があります。以下の各年齢で1回受けることとなります。

- ・生後2カ月
- ・4カ月
- ・6カ月
- ・15～18カ月
- ・4～6歳

DTaPは他のワクチンと同時に接種してもかまいません。また、時には、DTaPと1種以上の他のワクチンを1回の注射で接種することもできます。

## 3 DTaPワクチン接種を受けられない、または待たなければいけない子供

DTaPは、7歳未満の小児にのみ投与されません。DTaPワクチンは、あらゆる人々に使用できるという訳ではありません。小児の中には、少数ではありますが、DTaPの代わりに、ジフテリアと破傷風のみが入った異なるワクチンを接種する必要があります。

お子さまが以下に該当する場合、主治医にご相談ください。

- ・前回のDTaP接種後にアレルギー反応が出た場合、または重篤な命を脅かすほどのアレルギー症状が出た場合。
- ・DTaP接種後7日以内に、昏睡状態または長期間にわたる発作が出た場合
- ・発作または他の神経系の問題がある場合
- ・ギランバレー症候群(GBS)と呼ばれる症状があった場合
- ・前回のDTaPまたはDTワクチン接種後に重度の疼痛または浮腫があった場合

主治医がお子さまのDTaP接種を次回来院まで延期するように判断する場合があります。

風邪などの軽い病気にかかっている場合、予防接種を受けることができます。お子さまが中等度または重度の体調不調の場合、通常、回復を待ってから、DTaPワクチンを接種します。

詳しくは医師にお尋ねください。

## 4 ワクチン反応の危険性

- DTaP接種後には、通常、注射部位の発赤、ヒリヒリ感、腫れ、圧痛が現れます。
- DTaPワクチン接種後、1～3日で発熱、ぐずり、疲労、食欲不振、嘔吐が出てくる場合があります。
- DTaPワクチン接種後、発作、3時間以上泣き止まない、高熱(105°F以上)といったより重篤な反応は、ほとんど生じることはありません。まれに、年長の小児で、4回目または5回目のワクチン接種を行った後に、腕や脚全体がむくむことがあります。
- DTaP接種後に、長期的発作、昏睡状態、意識低下、回復不能な脳損傷が生じることは極めてまれです。

どんな医薬品でもそうであるように、ワクチンが重度のアレルギー反応、他の重篤な損傷または死亡の原因となる可能性はほぼありません。

## 5 重度の問題があった場合には？

アレルギー反応は、クリニックからの帰宅時に生じることがあります。重度のアレルギー反応の徴候(蕁麻疹、顔面および頸部の腫脹、呼吸困難、心臓の激しい鼓動、めまい、衰弱)を認めた場合は、救急車を呼んで、お子さまを最寄の病院へ搬送してください。

その他に心配になる症状がある場合は、お子さまの主治医に連絡してください。

重篤な反応は、ワクチン有害事象報告制度(VAERS)に報告する必要があります。通常は、主治医がこの報告書を提出しますが、ご自身で行うこともできます。[www.vaers.hhs.gov](http://www.vaers.hhs.gov)をご覧ください。VAERSは、反応について報告の受付のみで、医学上の助言は行いません。

## 6 全米ワクチン被害補償プログラム

全米ワクチン被害補償プログラム(VICP)は、特定のワクチンで被害を受けた人々を救済するために設けられた連邦政府のプログラムです。[www.hrsa.gov/vaccinecompensation](http://www.hrsa.gov/vaccinecompensation) をご覧になるか1-800-338-2382にお電話いただいて、プログラムおよび補償の申し立て方法についてご相談ください。補償請求には提出期限があります。

## 7 さらに詳しい情報は？

- 医師にお尋ねください。
- お住まいの地域か州の保健局に連絡ください。
- 疾病対策センター(CDC)にご連絡ください:
  - 1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO)にお電話いただくか、
  - [www.cdc.gov/vaccines](http://www.cdc.gov/vaccines)をご覧ください。

正確な予防接種状況、予防接種についての評価、今後の予防接種の推奨スケジュールを医療提供者に提供するため、情報はMichigan Care Improvement Registry (ミシガン幼児予防接種記録所)に送られます。予防接種情報が同記録所に送られないよう医療提供者に要請できる権利が誰にでもあります。

Vaccine Information Statement (Interim)  
DTaP (Diphtheria, Tetanus,  
Pertussis) Vaccine Japanese



Office use only

08/24/2018 | 42 U.S.C. § 300aa-26